

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

7月号／2010年7月1日発行

3つの目的

- 1つ よい会社をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

6月通常例会

○平成22年6月15日(火) 午後6時30分～ ○会場/いわき建設会館 5F



夏を思わせるような暑い日が続く中、6月15日(火)建設会館において6月通常例会が開催されました。佐久間例会委員長の司会のもと吉田泉さんによる3つの目的唱和の後、寺主代表幹事より、

- ①中央の経済・政治・文化等各種情報が入手できる「内外情勢調査会」の紹介と案内、
- ②小惑星探査機「はやぶさ」やワールドカップ関連商品に見られるよう日本のモノ作り・技術力の高さが世界の様々なところで活かされている、
- ③観光分野では昨今の健康志向を背景に滞在型旅行にニーズがあり、観光交流人口を増やすためにはそうしたニーズに対応する新しいアイディア等が必要、等の挨拶がありました。

その後、事務局、グループ会・研究会、委員会より事務連絡や報告があり、そして、企業交代で新し

く会員となったみずほ銀行いわき支店長の浜田成人さんより挨拶を貰いました。誕生日花鉢プレゼントは、長谷川祐一副代表幹事、竹下康照さん、松尾幸治さんに代表幹事より観葉植物ヘデラが贈られました。



左から長谷川祐一さん(6/19生)、松尾幸治さん(6/25生)
寺主代表幹事、竹下康照さん(6/19生)

6月講演内容

◆安島副代表幹事

「ローカルスーパーの勝ち残り戦略『顧客満足経営を目指して』」

マルトは、食を通してお客様に健康になって貰うことを創業理念として、主婦が台所感覚で利用して貰えるよう地域に密着した数キロ四方の店舗展開を行ってきた。共同仕入や共同販売でコストを圧縮するとともに、ポイントカードにより購買情報を収集し、システム化により購買データをマーケティングやお客様満足向上に活用している。こうしたドミナント店舗展開とFSP(優良固定客の維持・拡大を図るマーケティング戦略)を実践し、いわき市にあっては過半数を超えるシェアを達成している。

一方、お客様満足の前には従業員満足が不可欠であり、どれだけ従業員に意思を持たせ活躍して貰うかが全体のパワーに繋がる。チェックにレジ前の売場スペースを任せたところ、皆で知恵を出し工夫を重ねることで、データ分析に基づく売り方よりも10倍も売れた。経営は質×量だが、「質」は従業員の気質ともいえる。従業員に技術と意識を持たせ、現場でコミュニケーションを図りながら教育していくといった人づくりが最も大事。

また、会社の方針をどう伝えていくかもポイントである。年1回、経営方針発表会としてパートを含めた全従業員に経営方針や考え方を伝えるとともに、社長からのメッセージを小冊子にまとめ毎月配布しながら、幹部会議等を定期的に開催しながら、それでも足りないときは現場を回り自分の考えを伝えている。従業員を大事にし、育てていくことこそが、ひいては顧客満足に繋がるものと考えている。



②ラトブやアリオス等の拠点施設のメンバーと連携しながら、点から線へ、線から面へのソフト面の充実を図りながら、また、③いわき駅前賑わい創出協議会「コンパクトシティ推進プロジェクトチーム」に参画し、一店逸品運動、街なか情報発信、街なか駐車場、空き地・空き店舗有効利用等に積極的に取り組んでいる。

JRいわき駅前・ペデストリアンデッキ&広場が完成し、我が故郷が正に大きく変わろうとしているその中で、次世代に繋げていくという理念を持って、今後商店街づくりや街づくりを市民と共に進めていきたい。

3月25日、いわき駅前広場グランドオープニングフェスティバルが、商工会議所・商工連合会はもとより、JRいわき駅、各地区の市民会議をはじめ様々な団体の協力により開催されたことはとても意義深いもの。いわき駅広場はいわき市民全員のものであり、広場の利活用を通して故郷の街づくりを皆で考え更に積極的に進めていかなければならないと考えている。

◆長谷川副代表幹事

「人口減少と社会保障 医療について」

社会保障は、社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生、医療・老人保健の5部門から成っている。社会保障給付費は全体で約100兆円。内訳は医療保険が37兆円、公的年金が64兆円、介護保険が8兆円。これら社会保障費の国民負担率は、2004年で35.5%であるが、近い将来50%を超えることが想定される。

また、人口について見れば少子高齢化が急速に進んでいる。2004年、65歳以上人口は総人口の19%であるが、2025年にはそれが29%となり、2050年には2人に1人が高齢者の時代となる。

いわき市の人口減少も例外ではなく、2025年には30万人を割り、65歳以上人口も10万人を超えるといわき市では推計している。平成21年度いわき市における社会保障に関する予算は、国民健康保険で353億円、介護保険で235億円であるが、税金からそれぞれ20億円ずつ拠出している。とりわけ介護保険についてみれば、2000年で12億円であったものが僅か10年間で8億円も増えている。

このように社会補償費に対する負担はますます増え、個人負担、企業負担が増し、内需における消費心理を停滞させるばかりか経済そのものを疲弊させる。いわき市において少子高齢化対策をこの10年の期間に行い、15年後に予想される30万人割れを食い止めることが喫緊の課題である。いわき経済同友会の



◆松崎副代表幹事

「今、我が故郷いわきが大きく変わろうとしている」

冒頭、日野自動車でのサラリーマン生活のご紹介や本業である襖紙に対する造詣の深さを自己紹介として話された後、ふるさと「いわき」が大きく変わってきていることを、ご自身の思いとともに熱く語って頂いた。

平東部地区商業振興会の会長として、これまで、①平成18年11月に150店舗の情報を網羅したポータルサイト「いわきまちびた」を立ち上げ、今では平商店会連合会でも活用されている、



政策提言室として、皆さんの知恵を頂きながら各方面に声を上げていきたいのでご協力をお願いしたい。



◆山口副代表幹事

「太陽光の利用について」

日照時間とは、1日のうちで、日照計で計測される直達日照量120W/m²以上である時間(影ができる程度の時間)を言う。また、日照率とは、実際の日照時間／昼間

の時間(=4,380 h (24 h × 365日 / 2))である。日照時間の多い県は、1位：高知県(2,034 h)、2位：宮崎県(2,003 h)、3位：山梨県(1,961 h)。福島県は39位(1,582 h)であるがこのデータは県庁所在地であり、いわき(小名浜)の場合は2,083 h(直近30年平均)と、2,000時間を超えている。

全国的にも日照時間の多い地位であるが、何をするためにこの時間を使うかということを考えなければならない。いわきで栽培されたミカンが決して甘くないことに例示されるように、いわきでは緯度の関係上太陽熱量は多くない。太陽光が地表に斜めに当たるので、広い面に当たる分熱効率が悪く九州四国地方に比べ熱量が少ない。現在、太陽光の入射角度に合わせ熱効率が最適となるよう回転するパネルを用いた実証実験を行っている。1年間のデータを収集し、どういったパネルがいわき市の屋根に相応しいか見えてくるのではないかと思う。

太陽光の利用では、こうした太陽光発電を家庭で行った場合、自家で使用した分を差し引いた残りの電力を48円/Wで売電できる。このように優遇措置やパネル設置の補助金もあり、太陽光を上手に賢く利用したいもの。

また、企業としてはカーボン・オフセットの取組みも温室効果ガス削減の活動として益々重要になってくる。

6月グループ会報告

経営秘訣研究グループ会

■日 時 6月24日(木曜日)18:30~

■場 所 建設会館4F

●内 容 6月度グループ会はテーマ研究の2回目です。事業計画通り、昨年のテーマである「CS(顧客満足)研究」のまとめを振り返りながら、今年の内容に使える部分を模索いたしました。お客様への挨拶など基本的なことが大切であること、またクレームの対応法には各社様々なやり方があって力も入れているということで、それらを教えていただきました。このテーマにおける秘訣という部分がだいぶ見えてきました。



経営品質向上グループ会

■日 時 6月23日(水曜日)19:00~

■場 所 建設会館3F

●内 容 当会常任幹事の みらい経営研究所所長大和田宏様を講師に迎え、最近の景気動向を説明いただきながら、事業経営とは「変転する市場と顧客の要求を見極め、これに合わせて我社をつくりえること」であるということを基本に、「よい会社をつくるよい社長の姿勢とは」について講演をいただきました。

社員の経営参加など耳にする中、今回の講演は「社長は正しいワンマンであれ」という、目から鱗的な内容が多く、非常に有意義なお話でした。

誰も商品に対して対価を払うのではなく、商品がもたらす対価に対して対価を払う。利益責任を社員におしつけるな。など多くの学びがありました。



スポーツ交流グループ会

■日 時 6月21日(月曜日)19:00~

■場 所 スポルト平

●内 容 会員相互の交流と健康増進を目標に、ボウリング大会を開催致しました。ボウリングの起源について、述べさせて頂きますと、もともとボウリングは倒すピンを災いや悪魔に見たてて、それを沢山倒すことができれば、その災いなどから逃れる事が出来るという一種の宗教儀式であったと言われています。その歴史は古く、紀元前5,000年ごろには、古代エジプトの墓からボールとピンのようなものが、発掘された事から、



そのころからボウリングに似たようなものがあったと推測されるということです。中世ドイツのマルティン・ルターが、倒すピンを9本にし、並べ方もひし形に統一していったことが近代ボウリングのルールの原型になったと考えられています。ルターは、ボウリングの基本的なルールを統一した意外な功労者でもあると言えます。今回は15名で競技を行い、一投一投に一喜一憂しながらも、優勝を目指して会員皆さん2ゲームを投げ切りました。第2回ボウリング大会を11月に予定しております、性別、年齢を問わない楽しいスポーツですので、次回開催の大会に是非、ご参加をお願いいたします。優勝は高崎鉄也会員337ピンでした。

資質向上グループ会

■日 時 6月26日(土曜日) 8:00~
■場 所 川前地区(いわきの里 鬼ヶ城)

1 いわき駅出発8:41→川前駅着9:09(マイクロバス)→きじ牧場・東松院大モミ群→鬼ヶ城
磐越東線「ゆうゆうあぶくまライン」車窓から夏井川の新緑を眺め、いわき市の豊富な自然を満喫しながら、無人の川前駅で下車。川前支所長達の出迎えを受ける。
鬼ヶ城に向かう途中「日本きじ牧場」に立ち寄り、JA川前支店長の根本様よりキジ飼育の現状と課題をお聞きし、ヒナの孵化小屋等を視察する。また東松院裏のモミの巨木群30本を見る。戊辰戦争で敗れた安藤公が仙台に逃れる途中宿泊した寺院の裏手。

2 いわきの里鬼ヶ城10時から研修

地元の方々から、川前地区の現状と取り組みについて説明を受ける。地場産業興し、元気ある地域つくり、誘客数拡大等について意見交換を行った。

①鬼ヶ城永山支配人から、利用状況とPR及び今後の取り組みについて説明。

②JAいわき市川前支店長より、農業振興と現状。

70歳以上の高齢化。43%の減反と耕作放棄地。先の難しい農業経営で10年後は不安。H5年にJA合併。2~3年赤字になると止めざるえない。

③いわき市川前支所長矢内氏から「中山間地の現状と今後」について説明。松本氏補足。

12ページの資料を用意頂き、地理的状況・歴史・人口構成の変遷や産業状況・公共施設の状況について、過去から現状と将来について40分程。小中学校の児童数の減少や高校卒業後、都市部に就職。豊かな自然環境に反し、厳しい社会環境の実情に絶句。

3 参加者から、様々な質問。周辺自治体では過疎化の産業振興助成が受けられても、川前はいわき市の問題とされ対象外? (田人・三和・小川等)。企業誘致もままならず…。

4 午後1時まで地元食材を使ったバーベキューを皆で堪

能し、その後大自然の中に集合するバンガローや宿泊施設を見学。美しい空気と広大なパノラマを存分に味わった。



5 上桶壳沢尻の大ヒノキ・夏井諏訪神社の翁杉と姫杉(どちらも国天然記念物)見学。どちらも800年から1200年と言われるすばらしい天然の巨木。一見の価値あり。上桶壳沢尻の大ヒノキの巨木ぶりに一同感嘆。樹の下にある鳥居と祠の前で記念撮影。

6 夏井発14:14→いわき駅着14:52(3時解散)

いわきブランド研究会

■日 時 6月17日(木曜日)18:30~
■場 所 平ビューホテル

●議題 常磐沖潮目の魚ブランド推進懇談会

●内容 「常磐いわき潮目の魚」ブランド推進懇談会委員への就任要請

外部構成団体からの参加者

いわき商工会議所 小林事務局長 大平観光部会長

いわき市観光まちづくりビューロー 篠原物産部会長

いわき産学官ネットワーク協会 鈴木理事

はじめに武藤会長より、潮目の魚のブランド化にあたり、これまでいわき経済同友会として活動してきた経過報告と外部構成団体各位へブランド推進懇談会委員就任の要請をいたしました。

つづいて、寺主代表幹事よりブランド化の重要性についてお話をいた

だきました。

本日参加いた
だいた外部構成
団体各位より前



向きなご意見をいただき、近日中に懇談会を開催することで同意をいただき懇談の後、散会いたしました。

政 策 提 言 室

■日 時 6月22日(火曜日)12:00~
■場 所 いわき建設会館3F

影山俊男・常陽産業研究所社長を講師に「景気動向とこれからの企業経営を考える」の演題で講演を頂いた。

①景気動向の確認は、時間軸に沿って課題を整理すること。変化の(循環的な)「サイクル」を注視しつつ、(構造的な)「トレンド」を加味し、未来を構想することが必要。

②経済環境についての大きな課題。

- ・リーマンショックにより米一極主義から多極化へ、経済の重心は新興国に移行。

- ・景気は回復基調だが、企業の収益増が雇用・賃金増につながっていない。
- ・政権運営の不安定さも大きな懸念材料
- ・日本経済・産業の行き詰まりは深刻。
1人当たりの豊かさ、競争力とも低下している。
- ・立ちはだかる難問は、高齢化、人口減少、財政難、持続不能な社会保障制度
- ・主要4業種が国内予選で消耗し、世界で苦戦している。
- ・企業のビジネスモデルは変化している。日本企業は技術で勝って事業で負けている。
- ・新成長戦略は国民の理解を得る「大きな絵」が必要。
- ③中小企業を取り巻く環境…大きな差がつく時代。ともかく頑張ろう！
- ・まずは生き残ること。リストラ、原材料、外注先との関係等、まずは足元の見直しを。
- ・評判力、差別化が大事。連携力、信用力、人・ひと・ヒト重視の運営を行うこと。



□マスコミ懇談会□

6月22日(火) 正月荘に於いて、いわきの報道9社12名のご参加を頂き、情報交換の場と致しました。

いわき経済同友会の活動にご理解を頂き、各社の皆さんにPRをお願いいたしました。
【企画総務委員会】



平成22年度第一回新入会員オリエンテーション開催

6月9日(木) 建設会館引き続き、報徳苑において本年度第一回目の新入会員オリエンテーションを開催致しました。その後、場所を移して懇親会を開催し会員相互の親睦を図りました。参加の新入会員の皆さんご苦労様でした。



【会員増強委員会】

7月グループ会ご案内

■ 経営秘訣研究グループ会／7月29日(木) PM6:30～建設会館4F会議室

会員からの聞き取り内容によりテーマを決め、経営の秘訣につながる内容をディスカッション、ピックアップします。

■ 経営品質向上グループ会／7月21日(水) PM6:30～ 小名浜 一平 納涼会

■ スポーツ交流グループ会／7月6日(火) プロ野球観戦 巨人V.S広島 いわきグリーンスタジアム

■ 資質向上グループ会／7月24日(土) 時間は後日連絡

いわき市南部・北茨城地区の文化財を見る・聴く・触れ感じる。勿来駅前集合→国魂神社→花園神社→ガラス工房→淨連寺渓谷→そば道場→野口雨情生家→大津漁港→五浦美術館・六角堂→勿来の関→勿来駅(解散)

■ いわきブランド研究会／7月30日(金) AM11:30～

■ 政策提言室／7月21日(水) 12:00～建設会館5F会議室

産学官ネットワーク協会 鈴木重隆様 テーマ「産学官連携コーディネーターから見た、いわきの現状とこれから」

会員はどのグループ会にも出席できます。グループ長にお申し込み下さい。

7月納涼会例会のご案内

7月14日(水) ○会費/5,000円

スパリゾートハワイアンズ ラピータ

講演会テーマ 「21世紀の起業家とは」 講師 東洋システム(株)社長 庄司秀樹氏

会員の皆様には、ご多忙のことと思いますが、会員の皆様のご出席頂きますようご案内申し上げます。

**いわき経済同友会
ご入会のお薦め**

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
編集 情報委員会 委員長 山名二郎
副委員長／阿部晴康・岩尾英子・坂本和久・清水雅昭・山崎勇喜
委員／田村慎太郎

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp